

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 18 年 2 月 23 日 (2006.2.23)

【公開番号】特開 2003-268635 (P2003-268635A)

【公開日】平成 15 年 9 月 25 日 (2003.9.25)

【出願番号】特願 2003-29631 (P2003-29631)

【国際特許分類】

**D 0 1 G 27/00 (2006.01)**

**B 6 5 H 67/04 (2006.01)**

**D 0 1 H 9/02 (2006.01)**

**D 0 1 H 9/18 (2006.01)**

**D 0 1 H 13/00 (2006.01)**

【F I】

D 0 1 G 27/00 A

D 0 1 G 27/00 D

B 6 5 H 67/04 E

D 0 1 H 9/02 Z

D 0 1 H 9/18 G

D 0 1 H 13/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 1 月 10 日 (2006.1.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】紡績準備機械に設けられる装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 その出口においてスライバが排出装置により排出されて、土台上に載置され、その場合に排出装置と土台は互いに対して移動可能であり、土台上に載置されたスライバ（スライバパケット）は後段に接続されている加工機械へ供給可能である、紡績準備機械に設けられる装置において、

載置されたスライバ（4）（スライバパケット）は、機械的な手段（3、14、33、38、43）によって移動可能であって、そのことが付加的な容器などなしで、載置領域（8）内および／または載置領域（8）からのスライバ（4）（スライバパケット）の変位をもたらすことを特徴とする紡績準備機械に設けられる装置。

【請求項 2】 排出装置が、回転する回転板（2）であることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】 スライバ（4）は、リング形状に載置されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の装置。

【請求項 4】 排出装置は、位置固定されていることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 5】 土台（3、14、33、43）は、水平方向に往復移動可能である（

C、D；G、H；X、Y）ことを特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載の装置。

【請求項６】 スライバパケット（４）は、水平方向に往復移動可能である（Ａ、Ｂ；Ｋ、Ｌ）ことを特徴とする請求項１から５のいずれか１項に記載の装置。

【請求項７】 土台（１４）は、固定位置に配置されていることを特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載の装置。

【請求項８】 土台（３３；３６；４３）は、垂直方向に昇降可能であることを特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載の装置。

【請求項９】 土台は、コンベアベルト（１４；３３；４３）であることを特徴とする請求項１から８のいずれか１項に記載の装置。

【請求項１０】 土台は、移送装置、たとえば台車（３）であることを特徴とする請求項１から８のいずれか１項に記載の装置。

【請求項１１】 コンベアベルト（３３）は、台車（３）に配置されていることを特徴とする請求項１から１０のいずれか１項に記載の装置。

【請求項１２】 コンベアベルト（３３）の長さは、回転板（２）の下方の長手方向における最大往復距離（ａ）に相当することを特徴とする請求項１１に記載の装置。

【請求項１３】 コンベアベルト（４２）の長さは、回転板（２）の下方の長手方向における最大の往復距離の少なくとも２倍に相当し、かつ載置領域から突出していることを特徴とする請求項１１に記載の装置。

【請求項１４】 機械的な手段が、押圧装置、たとえばスライダ（３８）などであることを特徴とする請求項１から１３のいずれか１項に記載の装置。

【請求項１５】 載置領域（８）に、載置されたスライバ（４）（スライバパケット）のための変位装置（３、１４、３３、３８、４３）が対応づけられていることを特徴とする請求項１から１４のいずれか１項に記載の装置。

【請求項１６】 変位装置（３、１４、３３、４３）は、載置されたスライバ（４）（スライバパケット）を載置路上で往復変位させることを特徴とする請求項１５に記載の装置。

【請求項１７】 変位装置（３、１４、３３、３８、４３）は、載置されたスライバ（スライバパケット）を載置後に載置領域（８）から移送または搬送することができることを特徴とする請求項１５または１６に記載の装置。

【請求項１８】 載置されたスライバ（４）（スライバパケット）は、変位可能であることを特徴とする請求項１５から１７のいずれか１項に記載の装置。

【請求項１９】 載置されたスライバ（４）（スライバパケット）は、載置領域（８）内で変位可能であることを特徴とする請求項１８に記載の装置。

【請求項２０】 載置されたスライバ（４）（スライバパケット）は、載置領域（８）から出るように変位可能であることを特徴とする請求項１８に記載の装置。

【請求項２１】 スライバ（４）は、コンベアベルト（１４、３３、４３）の上方のベルト部分（１４ａ、３３ａ、４３ａ）によって載置領域（８）内で往復移動可能であることを特徴とする請求項１９に記載の装置。

【請求項２２】 載置されたスライバ（４）（スライバパケット）は、コンベアベルトの上方のベルト部分（３３ａ、４３ａ）によって載置領域（８）から出るように変位可能であることを特徴とする請求項２０に記載の装置。

【請求項２３】 土台のための昇降装置（３４ａ、３４ｂ；４２ａ、４２ｂ）が設けられていることを特徴とする請求項１から２２のいずれか１項に記載の装置。

【請求項２４】 昇降装置（３４ａ、３４ｂ）は、少なくとも２つのベルト部分を有していることを特徴とする請求項２３に記載の装置。

【請求項２５】 昇降装置は、昇降シリンダ、たとえば油圧または空気圧シリンダ（４２ａ、４２ｂ）を有していることを特徴とする請求項２３に記載の装置。

【請求項２６】 昇降装置が、鉄状の格子を有していることを特徴とする請求項２３から２５のいずれか１項に記載の装置。

【請求項 27】 昇降装置は、ばね部材を有していることを特徴とする請求項 23 から 25 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 28】 土台は、昇降底 (36)、たとえばプレートなどであることを特徴とする請求項 1 から 27 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 29】 昇降底 (36) などの上側が、滑りやすいように形成されていることを特徴とする請求項 28 に記載の装置。

【請求項 30】 載置プロセスを支援するために、固定部材などが設けられていることを特徴とする請求項 1 から 29 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 31】 載置されたスライバ (4) (スライバパケット) は、載置領域 (8) から土台 (35) 上へ搬出されることを特徴とする請求項 1 から 30 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 32】 土台 (35) は、移送シャーレなどであることを特徴とする請求項 31 に記載の装置。

【請求項 33】 載置されたスライバ (4) (スライバパケット) のための土台 (35) に、載置領域 (8) の外部に配置された移送装置が対応づけられていることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 34】 載置されたスライバ (4) (スライバパケット) のための土台 (35) に、載置領域 (8) の外部に配置された移送装置、たとえば懸架コンベアなどが対応づけられていることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 35】 載置されたスライバ (4) (スライバパケット) は、スムーズに、あるいはほぼスムーズに載置領域 (8) から出るように変位可能であることを特徴とする請求項 33 または 34 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 36】 始動距離および制動距離上の変位装置の速度の変化は、ほぼ恒常的に (無段階に) 行われることを特徴とする請求項 1 から 35 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 37】 載置されたスライバ (スライバパケット) は、均一な速度で載置領域 (8) から変位可能であることを特徴とする請求項 35 に記載の装置。

【請求項 38】 変位装置に、制御可能な駆動装置 (5、15)、たとえば駆動モータが対応づけられていることを特徴とする請求項 1 から 37 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 39】 制御可能な駆動装置 (5、15) は、電子的な制御調節装置 (6) に接続されていることを特徴とする請求項 38 に記載の装置。

【請求項 40】 駆動される変位装置 (3、14、33、38、43) は、載置されているスライバ (4) (スライバパケット) の安定した変位を実現することができることを特徴とする請求項 1 から 39 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 41】 載置されているスライバ (4) (スライバパケット) は、載置領域 (8) 内でスムーズに、あるいはほぼスムーズに変位可能であることを特徴とする請求項 1 から 40 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 42】 スライバ (4) は、載置領域 (8) 内に自由に載置されていることを特徴とする請求項 1 から 41 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 43】 スライバ (4) は、自由に載置されている形状で変位可能であることを特徴とする請求項 1 から 42 のいずれか 1 項に記載の装置。